

(平成26年4月作成)

水害の際の衛生対策と消毒方法（資料）

水害時における衛生対策

1 水害時における衛生対策について

(1) 床上浸水の場合

- 1) 家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
- 2) 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要なものを片付けてください。
- 3) 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きし、風通しをよくして、日光で十分に乾燥させてください。必要に応じて、使用濃度に薄めた消毒薬（逆性石けんや家庭用漂白剤）で拭き掃除をします。
(消毒は、洗浄後でないとも効果を発揮できません)
- 4) 食器類や調理器具は、きれいに汚れを洗い流した後、台所用漂白剤に浸したり、熱湯で消毒してください。
- 5) 食器棚や冷蔵庫などは、きれいに汚れを拭き取った後、消毒用アルコールなどで拭き取り消毒を徹底してください。

(2) 床下浸水の場合

- 1) 家の周囲や床下にある不要なものや汚泥などを片付けてください。
- 2) 水で流せる場所は、よく汚れを洗い流してください。
- 3) 床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により通風を良くし、乾燥させてください。
- 4) 必要に応じて、家の周囲や床下などの消毒薬または消石灰を散布してください。

(3) 食中毒・感染症の予防について

河川などの増水により浸水した地域においては、衛生環境が不良な状態となり、細菌性の下痢などの感染症や食中毒が発生しやすい状況となります。

- 1) 飲用に適する水を飲んでください。汚水等で汚染された井戸、受水槽については、水質検査を実施する等、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。
- 2) 調理や食事前、用便後には、必ず石けんで十分に手洗いをしてください。
- 3) 水に浸かった食品や、停電等により保存温度が保てなかった要冷蔵・要冷凍食品は、食べずに廃棄しましょう。
- 4) 避難所等で調理された食品は、できるだけ早く食べるようにし、残った場合は廃棄するようにしてください。
- 5) 発熱、下痢、腹痛などの症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

2 作業時における感染予防について（注意事項）

（1）作業従事者

- 1) 作業による汚れには、いろいろな細菌が混在しているため、作業終了後汚れを流水でよく洗い流してください。特に、汚れた手のままの飲食等は絶対に避けてください。飲食前は必ず石けんを使って流水でよく洗ってください。
- 2) 消毒薬を取り扱う際には、長袖、長ズボンを着用し、ゴム手袋などを使用し（必要に応じメガネ・マスクを着用）、皮膚や目にかからないように注意してください。
- 3) 作業中のすり傷やきり傷は傷口をきれいな水で洗い流してください。出血が多いようなら、きれいなタオル、布などをあてて圧迫止血し、医療機関に受診してください。刺し傷は傷口が小さくても奥が深く、細菌が入ると破傷風にかかることがありますのでご注意ください。小さな異物は拭き取ったり、水で洗い流し、必ず消毒してください。

● 作業する際の服装

作業をする際は、感染症の防止のため下記の装備をし、水や土、汚染された廃材などを直接触ったり、くぎなどを踏んだりしないよう体を保護してください。

- ・マスク
- ・長袖・長ズボン
- ・手袋（厚手のゴム手袋など）
- ・虫除けスプレー（山林等で作業する場合など）

（2）一般の方

- 1) 浸水などの後の汚れは、雑菌がいっぱいです。まめに石けんを使ってよく手を洗いましょう。特に、食事、病人や赤ちゃんの世話のときは、手洗いを念入りにしましょう。
- 2) 食器等の洗い水は、水道水を使用してください。井戸水をやむなく使用する場合は、煮沸してから使用してください。
- 3) 疲労をさけるため、できるだけ休養をとりましょう。
- 4) 作業中にけがをしたときは、傷口を、まずきれいな水で洗い流しましょう。
- 5) 家の中や周囲を見渡して、物がおちたり、倒れそうなところが無いか確認しましょう。

消毒薬等の使用方法について

1 消毒に要する機材・薬剤

- ・ 噴霧器、計量カップ、マスク、ゴム手袋、長靴 等
- ・ 次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム（逆性石けん）、クレゾール石けん液、消毒用エタノール（80%）、消石灰（水酸化カルシウム）等

【消毒薬の抗菌スペクトル】

薬 剤 名	一般細菌 (大腸菌、 黄色ブドウ 球菌など)	ウイルス (ノロウ イルスな ど)	結核菌	真菌 (カビな ど)	芽胞菌 (クロス トリジウ ムなど)
次亜塩素酸ナトリウム	○	○	△	○	△
塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	○	×	×	△	×
クレゾール石けん液	○	×	○	△	×
消毒用エタノール	○	△	○	○	×

○：有効 △：効果が弱い場合がある ×：無効

2 消毒方法について

消毒薬は、過剰に使用すると人体や環境への影響を与えることがあるので、必要最小限を使用します。

また、消毒薬を調整する際に飲用の空ペットボトルを使用すると、小さなお子さん等のいる家庭では、誤飲の元になりますので、使用しないかまたは調製後は別の容器に移し替えてください。

使用の際には、取扱い説明書に従い、事故が起こらないよう注意してください。

3 家庭で使用できる消毒薬について

● 次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

- ・ 薬品名 ： 次亜塩素酸ナトリウム液 （6%と1%のものがある）
- ・ 商品名 ： ピューラックス、キッチンハイター、ミルトン等

〔希釈方法（6%のものを使用する場合）〕 キャップ1杯が約6 mL

用 途	手指の消毒	家具、器具、物品の消毒
濃 度	0.02%	0.06% ~ 0.03%
希釈倍数	キャップ1 / 2杯	キャップ2杯弱 ~ 1杯弱
希 釈 液	水 1L	水 1L

[主な用途]

手指、食器、家具等の消毒（金属、ゴムなどは腐食させることがある）

[使用方法]

- (1) きれいなタオルをバケツに入れ、十分に浸します。
- (2) タオルをゆるく絞り、消毒対象物が十分濡れるように清拭します。
- (3) 明らかな汚れがない部分でも、濡れた状態を1～2分間保持しなければ十分な効果がえられません。
- (4) 消毒対象物から薬液が滴り落ちる場合は、ペーパータオルに浸潤させ覆うとよいでしょう。
- (5) 食器類の消毒には、薬液に2分以上*浸した後、水洗いします。
(※ 木製のまな板等の場合は5分以上浸す)

[注意事項]

- (1) 保護マスク、メガネ（ゴーグル）、ゴム手袋、長靴等を着用します。
- (2) 他の薬剤（酸性のトイレ用洗剤等）と混ぜると、有毒ガスが発生する恐れがありますので、注意しましょう。
- (3) 汚れの多い場所は消毒効果が減少するので、十分な薬剤と時間が必要です。
- (4) 清拭タオルの汚れにより、バケツ内の消毒液の効果が落ちるので汚れたら薬液を交換します。
- (5) 塩素臭がするため、換気に気をつけてください。
- (6) 作り置きは効果が減少するので、使用時に調製します。（保管状態にもよるが、密封してあれば約2週間程度は安定）
- (7) 汚物が付着したものは、拭き取り後、約0.1%希釈液で浸して消毒します。

● **逆性石けんによる消毒**

- ・ 薬品名 : ベンザルコニウム塩化物液、ベンゼトニウム塩化物液
- ・ 商品名 : オスバンS、ウエルパス、ザルコニン液、ハイアミン液等

[0.1%（1000ppm）の調整方法]

（ベンザルコニウム塩化物10%水溶液（オスバンS）を使用する場合）

- (1) バケツに水道水を約3L入れ、ベンザルコニウム塩化物10%水溶液を50mL投入します。
- (2) バケツの目盛りで約5Lとなるよう水道水で混和希釈します。（100倍）

[主な用途]

手指、家具や床等の拭き取り消毒

[使用方法]

- (1) きれいなタオルをバケツにいれ、十分に浸します。
- (2) タオルをゆるく絞り、消毒対象物が十分濡れるように清拭します。
石けん液などが残っている場合は効果が減弱しますので、十分に水で洗い落とした後に使用して下さい。

● クレゾール石けん液による消毒

- ・薬品名 : クレゾール
- ・商品名 : クレゾール石けん液

[3.0%の調整方法]

バケツに水道水を約1L入れ、クレゾール石けん液を約30mL投入します。

[主な用途]

し尿槽や下水があふれた場所、氾濫した汚水が付着した壁面等

[使用方法]

- (1) じょうろや噴霧器などで家屋のまわりや腐敗物に散布します。
- (2) 壁面は泥などの汚れを水で洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、消毒液をひたした布などでよく拭きます。または噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。

● 消毒用エタノール（80%）による消毒

- ・商品名 : 消毒用エタノールスプレー 等

[主な用途]

錆が発生しやすい場所、細かい場所の噴霧・拭き取り消毒

[使用方法] : 錆が発生しやすい場所、細かい場所の噴霧・拭き取り消毒

- (1) ペーパータオル等に十分染みこませ、消毒対象物を清掃します。
- (2) 汚れにより効果が落ちるので、前もって汚れを拭き取ってください。
- (3) 消毒効果は早いので、滴り落ちる場合は拭き取ってもかまいません。

[注意事項]

- (1) プラスチックを劣化させるので、目立たない場所で確認してから使用します。（透明部分は要注意）
- (2) 水分により効果を失うので、乾燥した場所に使用します。

● 消石灰による消毒

- ・薬品名 : 消石灰（水酸化カルシウム）

[主な用途]

し尿や下水があふれた場所、動物の死骸や腐敗物が漂着した場所、氾濫した汚水が付着した壁や乾燥しにくい床下

[使用方法]

- (1) 消石灰は強アルカリにより消毒効果を示すものであるため、散布時は、直接、皮膚・口・眼・粘膜等に付着或いは吸引しないよう、保護マスク、メガネ（ゴーグル）、ゴム手袋、長靴等を着用します。
- (2) 袋から取り出し、浸水した床下、家の周囲にホウキ等で全体が白くなる程度まで均一に拵げ、散布します。

● **速乾性すりこみ式手指消毒薬**

[使用方法]

水道水と石けんでよく手洗いし、きれいなペーパータオル等で拭いた後、適量を手指にすり込む様にして使用します。

4 加熱による消毒

- ・ 煮 沸（食器、ほ乳瓶等）： お湯を沸騰させ、加熱したまま約10分程度煮沸します。
- ・ 熱 湯（包丁、まな板等）： 熱湯を直接器具等にかけて、自然に冷まします。
- ・ 乾燥機（タオル、衣服等）： 容量に応じ、30分～40分程度乾燥します。